



2月の平日夜間・休日診療のご案内



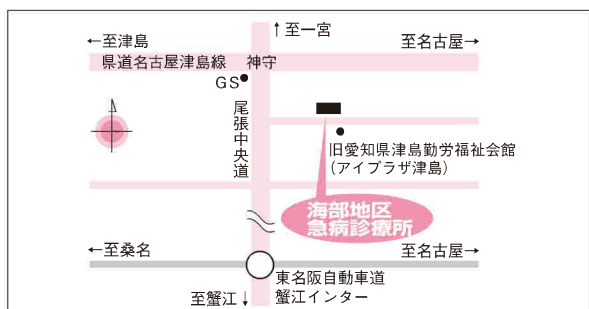
●平日夜間診療・休日夜間診療のお問合せは、下記へお問合せください。

海部南部消防署 ☎52-0119

救急医療情報センター ☎26-1133

海部地区急病診療所 ☎25-5210

海部地区急病診療所 津島市萩原町字郷西37		
診療科目	診療日	受付時間
内科 小児科	日曜・祝日	午前9時～11時30分 午後1時～4時30分
歯科	日曜・祝日	午前9時～11時30分 午後2時～4時30分
ホームページ http://amaq.sakura.ne.jp		
診療の詳細は、村公式ホームページ等でお知らせしています。なお、事前に電話で確認して受診するようにしてください。		



病状等のお問合せは、受付時間内に直接お電話してください。

休日の診療は以下のとおりです。

＜外科＞は、海部郡・津島市・愛西市・弥富市・あま市内の在宅当番医による輪番制で行っています。

＜内科＞は、海部地区急病診療所で行っています。

週末の担当病院です

休日診療<外科>			
午後5時以降は消防署へお尋ねください。 専門外の患者さんは、お断りする場合があります。			
診療時間 日曜日・祝日 午前9時～午後5時			
2 (日)	駅前ふじたクリニック	052-462-0222	あま市
9 (日)	もりや整形外科	052-445-3711	あま市
11 (火・祝)	わたり整形外科	052-449-6699	あま市
16 (日)	脳神経外科のぞみクリニック	052-443-5533	あま市
23 (日・祝)	やとみ整形外科スポーツクリニック	65-5353	弥富市
24 (月・振休)	服部整形外科皮膚科	65-1200	弥富市
3月			
2 (日)	つつみ整形外科	97-0223	蟹江町
9 (日)	奥村クリニック	22-2600	津島市

とびしまほっと安心ダイヤル～健康、医療、子育て等～

 0120-501-970 (24時間対応)

無線放送内容を確認できる音声自動応答サービスについて

同報無線で放送した内容は、次の番号へお電話いただくことで確認できます。
聞き逃したとき、聞き取りにくかったときなどにご活用ください。
※混み合っている場合には通話中となることがあります。

☎0567-52-1451

携帯電話または県外から利用する場合はこちらをご利用ください。
※通話料がかかります。

☎0800-200-5656

県内の固定電話からのみ利用可能
※通話料は無料です。

災害用伝言ダイヤル171を知っておきましょう

●「171」をダイヤルし、利用ガイダンスにしたがって伝言の録音・再生をしてください。



つまり、「食べ物の口移しや噛み与えをしない」、「離乳食の味・温度のチェックを赤ちゃん用のスプーンで行わない」、「お箸やスプーンの共有はしない」といったことにあまり神経質になる必要はないと思われます。

時代の流れと共に世間の常識もだんだん変わってきています。

（海部歯科医師会）

(海部齒科医師会)

とが説明されています。

また、和歌山県立医科大学からの親の唾液に触れることで、子どものアレルギーを予防する可能性があるという研究内容が大きく報道され話題になりました。アトピー性皮膚炎、鼻炎などのアレルギー疾患について、生後12カ月未満の乳幼児期に親の唾液に接触していた子どもの方が、学齢期（6～15歳）の発症リスクが抑えられる可能性があることが分かっています。

「食器を共有しないことが、赤ちゃんのむし歯予防につながる」というのはもはや常識。当たり前のようになっておりますが、これに對し昨年、日本口腔衛生学会（齒科予防学会）が「食器の共有をしないことでむし歯を予防できる」ということの科学的根拠はない」と意見書を出しています。その中で、親からのむし歯菌感染は離乳食前からおこっていること、むし歯の原因菌はミュータンス菌だけではないこと、食器の共有に気をつけていても3歳児においてむし歯発生に差はなかったことなどが説明されています。

「離乳食が始まる時期に、お父さんやお母さんと同じ箸やスプーン、フォークやコップなどを使うとむし菌菌がうつる」という情報はご存知でしょうか？近年よく言われるようになり、一度はメディアや雑誌、SNSなどで目にしたことがあるのではないのでしょうか？

乳幼児時期の食器の共有に気をつけていますか？

